

第二回 照明講習会

2006 年 6 月 12 日（月）

講師：織茂亜由美、須藤和也

サポーター：高相陽子、浜崎友里、池田透

学年 名前

【照明のオペレートが出来るまで】

ホールやライブハウスとは違って、アドバンでは音響設備も照明設備も何もない教室や屋外など、様々な場所でオペレートをします。その際に必要となる機材は自分達の機材を使用することも多々あります。その際の仕事の手順を追っていきましょう。

1 . 機材の確認

2 . 機材の状態チェック

3 . 機材搬出

4 . 仕込み

【仕込みの手順】

前日、もしくは当日は行う仕込みにはある程度の手順があります。これを知らない以上はオペレートが出来ません。今から示す仕込みの手順は重要ですので、流れを覚えてください。

・ 灯体を設置する作業

1 . 灯体をスタンドに吊るすための準備

- ・
- ・
- ・

2 . 灯体をスタンドに吊るす

- ・
- ・

落下防止

3 . ディマーと電源ケーブルの接続（電源確保）

- ・

4 . ゼラ（カラーフィルター）を入れる

- ・

5 . ケーブルの整理

- ・

・ 灯体を点すための作業

1 . ディマーの設置、電源確保

- ・
- ・

2 . 信号ケーブルの接続

- ・
- ・

3 . ディマーのチャンネル設定

- ・

4 . 点灯チェック

- ・

【ディマーとは】

ディマーとは、調光卓と一緒に使用することで、灯体の各単体を点灯させたり、光の強さを調整したりすることの出来る機材です。

ディマーでは次の機能を備えています。

1．電源を供給する

アドバンの調光卓は電源の管理が出来ません。そのため、ディマーから灯体へ電源を供給することになります。

2．チャンネルの設定が出来る

調光卓による電源の供給がないため、各フェーダー（チャンネル）の設定がディマーで出来ます。

3．卓の命令を調節する

1．の理由から、調光卓からは、ケーブルを通じて各フェーダー（チャンネル）の設定情報のみがディマーに流れてきます。

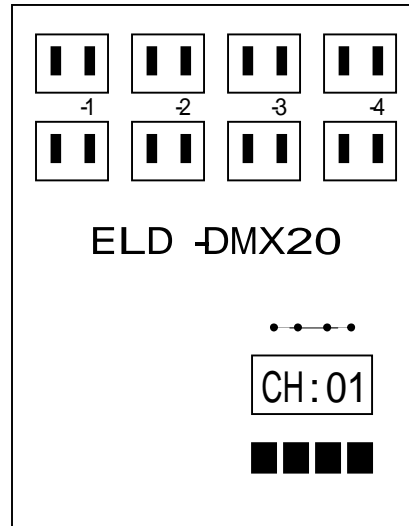
調光卓の命令に従って、ディマーが光の強さなどを調整します。

4．ディマー単体でプログラム機能の使用

ディマーは調光卓がなくても、16つのプログラムが入っていて単体でも使用出来ます。

【ディマーの使い方】

図を見ながら機能について確認します。



点灯確認 LED

各チャンネルに対して、点灯状況を確認できる LED です。どんなに小さな明るさでも点いていれば点灯します。

LED は 4 つあります。左から、(ディマー内での) 1CH、2CH、3CH、4CH の点灯状況を示します。

灯体差込コンセント

8 つのコンセントがありますが、上下で 1 セット、合計 4 セットあります。こちらも、左から、(ディマー内での) 1CH、2CH、3CH、4CH の点灯状況を示します。

MODE ボタン


調光卓からの制御で動く RECEIVE モードにするか、ディマー単体で動作する PROGRAM モードにするかの切り替えをするボタンです。

MENU ボタン

それぞれの MODE で、機能設定をするボタンです。

詳しくは、次章で確認します。

調整ボタン

MENU での設定値を「」「」ボタンを用いて調整します。

ディスプレイ

MODE、MENU の設定状況の表示と、調光卓を使う場合に卓から信号が届いているかの確認が出来ます。

【MODE、MENU の設定一覧】

各 MODE に対する MENU の一覧を確認します。

MODE名	表示	最小値	最大値	機能
RECEIVE	R:XXX	1	512	
	CH:XXX	1 or 2 or 4		
CHASE	P:XX	1	16	
	SP:XX	1	99	
	d:XXX	0	100	

付録：用語集

用語	説明
灯体	照明のライト全般。
演者	バンドや役者などの出演者。
アクティングエリア	演者さんが演奏、演技する範囲。舞台の範囲。
上手	客席から舞台上を見て右側。
下手	客席から舞台上を見て左側。
場転	舞台を次のセットに転換すること。
暗転	舞台上を暗くし、次の場面に転換すること。
明転	舞台上を明るくすること。
地明かり	舞台上から舞台全体をまんべんなく照らす明かり。
前明かり	客席上にあり、演者さんの顔を暗くしないための明かり。
目潰し	舞台後ろから客席に向かっての明かり。
フェーダー	明るさの明るさを調節するつまみ
フェードイン (FI)	明かりのレベルとゆっくり上げていくこと。
フェードアウト (FO)	明かりのレベルをゆっくり落としていくこと。
クロスフェード	今ついている明かりと、次の明かりを重ね合いながら変えること。
カットイン (CI)	明かりをいっきにつけること。
カットアウト (CO)	明かりをいっきに消すこと。
シュート	灯体の明かりを当てたい場所に当てること。
通し	最初から最後まで、一連の流れを通すこと。
リハーサル	確認をしながら通すこと。
ゲネプロ	本番同様に止めずに通すこと。役者は衣装をつけて行う。ゲネ。
場当たり	役者、音響、照明のきっかけを合わすこと。きっかけの確認。
板付き	演者が立ち位置につくこと。
袖	上手側、下手側の舞台から外れた場所。
バミる、バミり	演者の立ち位置、物の置き場所などを印したもの。
目張り	会場を真っ暗になるようにダンボールなどで窓などをふさぐこと。
はける	舞台上から、人や物が袖に移動すること。
小屋	演劇等の興行を行うために建てられた建物。劇場、ホール。
小屋付き	小屋の安全や、様々な管理をされる方。

参考：演劇用語

<http://hw001.gate01.com/syunta/page074.html>

<http://www.moon-light.ne.jp/terminology/top.htm>